

I 中学校 M先生のあたりまえ

その① 「知る・試すを楽しむ時間」

美術の時間は上手に描く・作るが目的ではなく、知らなかったことを知る、知っていたことを更に深める、知ったことを試すなかで、自分の心にひびく「美意識や表現」を見つける時間と話している。また、時数が少ない中でも、より多くの画材・材料・素材・表現にふれる時間を意識して、あえて小学校の造形遊びの延長のような時間を設けることを心がけている。「画材探検」という題材では、クレヨンや色鉛筆、パステルや水彩色鉛筆、カラーペンなどの身近な画材について、基本的な技法や効果、作品例を「知る」ことから、お試しのミニ作品制作を通して「知ったことを試しながら、新しい表現を生み出す楽しさを味わう」ことを目的としてここ数年実施している。

その後の制作活動で自分の意図に応じて画材を選んだり、画材を組み合わせたりするようになる生徒の姿が多く見られるようになる。画材以外にもより多くの素材の特徴について考える時間を組み込んだ題材を設定することを意識している。



小さい作品にし、時間内なら何回でも描き直しOK。うまくいったらそのまま作品として校内に展示。
例) クレヨンもぼかし、重ね塗り、スクラッチなど色々組み合わせている。生徒の作品

その② 「興味関心を呼び起こす題材探し」

生徒たちに身に付けさせたい資質・能力を基にしながら、興味関心ももてる題材にするために、他教科との関わりも意識している。特に地域活性化を目指す「総合的な学習の時間」との関連を意識した題材に取り組んでいる。3年生で取り組んだ「地域PRポスター」は総合的な学習の時間を意識させて取り組んだ。県や市の観光ポスター（実物）を借りた鑑賞授業から入り、自分が撮影した地域特産物、風景などの写真を使用することで学習意欲の向上を図りながら写真の撮り方、モチーフの選び方、ポスターとしての構成による効果といった要素に絞ることで、手描きとは違う取り組みやすさとデジタルならではの修正、やり直しの容易さを生かして、意図に応じた表現の試行錯誤に重点を置いて活動することができた。



その③ 「効果的なICT活用の模索」

- 作品の制作や鑑賞のための資料検索。
- クラブルームとロイロノートの使い分け
技法動画資料のアップや振り返りカード（クラブルーム）
制作過程の記録や作品の解説カードの作成・提出。個人のポートフォリオ。（ロイロノート）
- 無料アプリ等を利用したポスター制作（CANVA）※上記「地域PRポスター」